

2013年3月期 第2四半期 決算説明

挑戦と進化、そして未来へ

2012年10月30日



MES

三井造船株式会社

第2四半期決算のポイント

1. 事業・機能本部改編により
11中計戦略を加速
2. 超円高下での目標利益を
確保

第2四半期決算のポイント

1. 事業・機能本部改編により11中計戦略を加速

事業本部

船舶・艦艇

鉄構・物流

機械・システム

環境・プラント

エンジニアリング事業を集約

船舶・艦艇

機械・システム

エンジニアリング

プラントやインフラ需要への対応力強化により
周辺分野の事業領域拡大を目指す

発電事業投資や運転保守業務など、市況に左右
されない安定的な事業にも注力

第2四半期決算のポイント

1. 事業・機能本部改編により11中計戦略を加速

機能本部

事業開発

営業総括

技術

事業開発と
営業総括を統合

事業開発

技術開発

事業開発とマーケティングの一体化により、顧客ニーズに密着した事業企画／開発を推進し、新規事業の早期事業化を図る

第2四半期決算のポイント

2. 超円高下での目標利益を確保

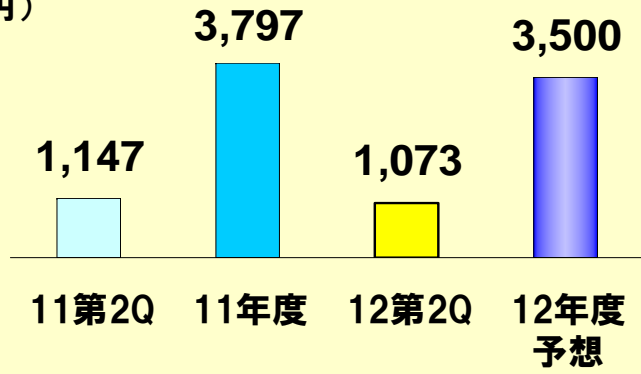
(単位：億円)

	11第2Q 実績	12第2Q 予想	12第2Q 実績	11年度 実績	12年度 予想
受注高	2,164		1,841	6,869	6,800
売上高	2,684	2,700	2,675	5,719	5,900
営業利益	129	100	96	314	200
経常利益	144	100	98	323	190
当期利益	72	40	30	179	90

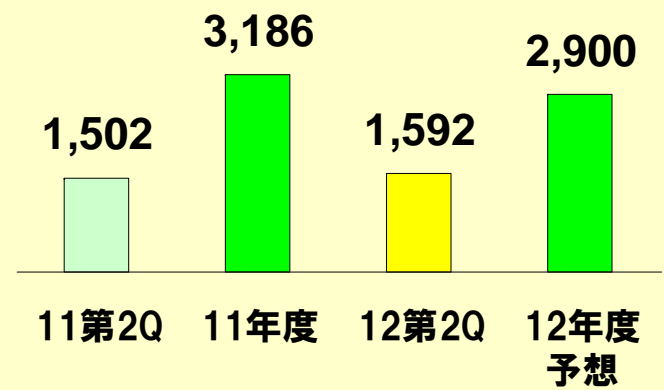
連結決算の概要—船舶海洋部門

(単位：億円)

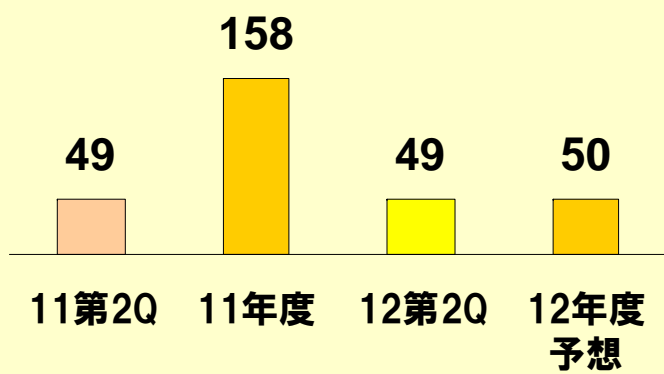
受注高



売上高



営業利益



造船市況低迷下、 省エネ船で活路開く

○受注高

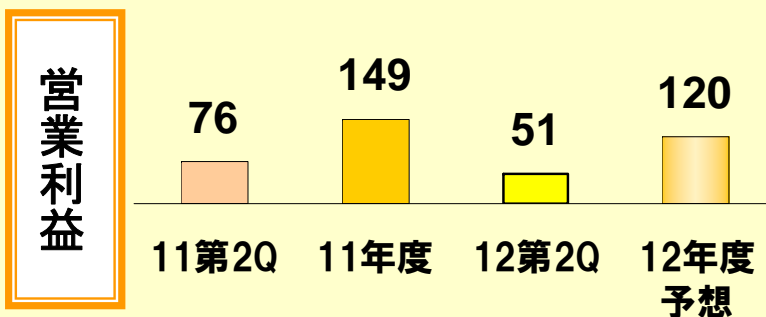
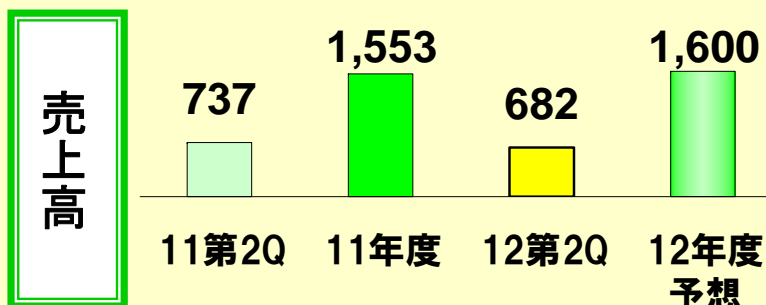
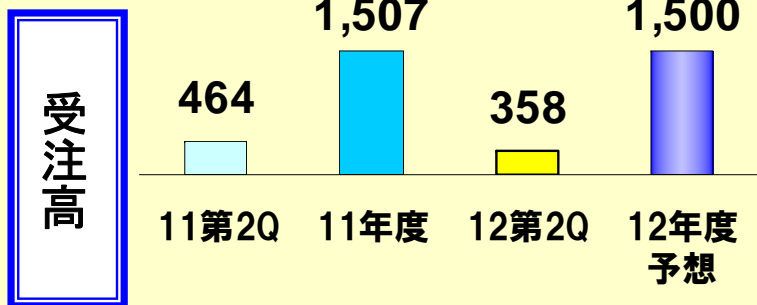
- ・船型変更により66BCの受注残は累計5隻に
- ・市況低迷下にあっても省エネ船の引合進む
- ・大学向け練習船1隻を受注
- ・MODECはFPSO関連工事受注で連結決算に大きく貢献

○売上高／営業利益

- ・売上高は建造船が順調に進捗、前年同期から90億円増加
- ・超円高下にあってもなお営業利益は前年同期並みを確保

連結決算の概要—機械部門

(単位：億円)



受注高及び売上高は前年並みを目指す

○受注高

- ・船用ディーゼル事業：受注見込みは生産枠の形で13年度末まで予定できている。しかし、厳しい価格交渉となっている。
- ・産業機械事業：中東・東南アジア・インドで引き合いが活発であり、その地域に注力する。
- ・クレーン事業：国内・海外ともに案件数が増加しており、受注拡大を目指す。

○売上高

- ・船用ディーゼルエンジンの生産が堅調であり前年度並みの売上げを見込む。

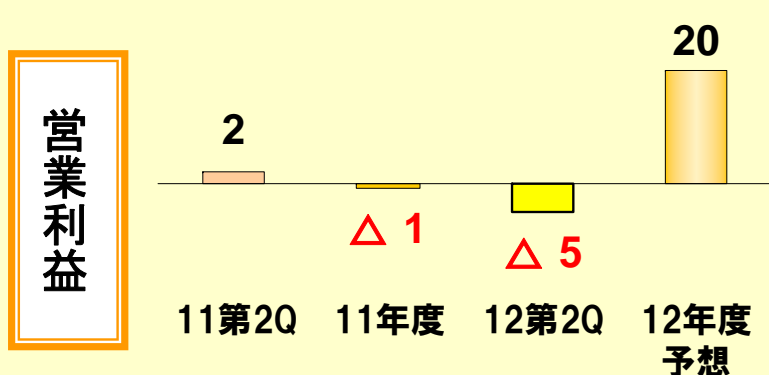
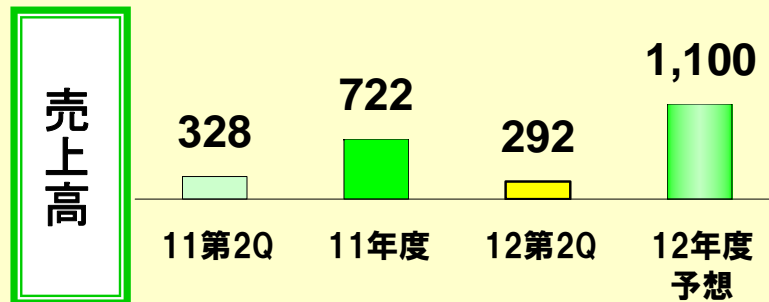
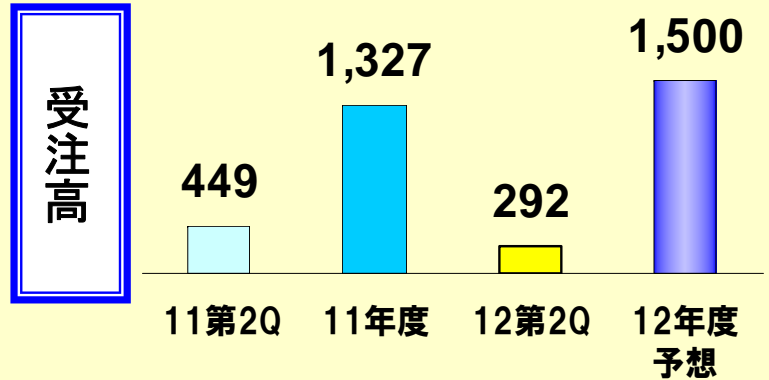
実績	11年度第2Q			11年度実績			12年度第2Q		
	受注	売上	受注残	受注	売上	受注残	受注	売上	受注残
基数	12	98	129	184	199	200	18	93	124
万馬力	29	191	322	403	397	490	34	197	326

○営業利益

- ・円高で価格は厳しいが、海外調達推進等のコストダウンにより、通期目標の達成を目指す。

連結決算の概要—エンジニアリング部門

(単位：億円)



下期受注獲得に注力

○受注高

- ・大型案件の具現化に一部遅れが発生し、計画延期や期ズレにより下期へ有望案件が集中。下期での受注獲得を目指す。

○売上高

- ・上期は一部工事の進捗遅れと受注の遅れもあり、予想を下回る結果となる。工事工程の回復に努め、売上の積み上げを狙う。

○営業利益

- ・売上計上が少なく赤字となっているが、各工事の損益改善や下期の受注獲得に注力し利益の改善を行なう。

連結決算の概要－エンジニアリング部門

メガソーラー@大分事業所

三井造船・三井不動産 大分太陽光売電事業

17MWを
建設・売電

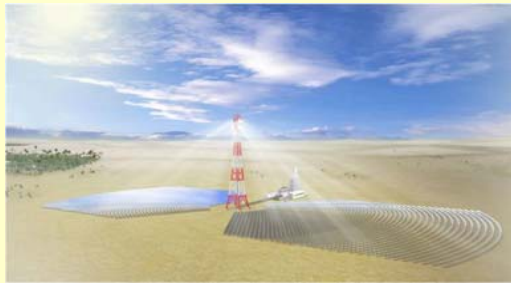
着工：2012年10月

完工：2013年11月



第2四半期 連結決算の概要—再生可能エネルギー—他

太陽熱発電



風力発電



波力発電



集光型太陽光発電



リン酸鉄リチウム
正極材料



バイオエタノール
製造事業



NGH事業



第2四半期 連結損益計算書(要約)

(単位：億円)

	11第2Q		12第2Q		増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	2,684	(100.0%)	2,675	(100.0%)	△ 9
売上原価	2,356		2,380		
売上総利益	328		294		
販売費及び一般管理費	200		199		
営業利益	129	(4.8%)	96	(3.6%)	△ 33
営業外収益	57		33		
営業外費用	41		30		
経常利益	144	(5.4%)	98	(3.7%)	△ 46
特別利益	1		-		
特別損失	15		29		
税引前利益	130	(4.8%)	69	(2.6%)	△ 60
法人税、住民税及び事業税	30		44		
法人税等調整額	35		△ 9		
少数株主利益	△ 8		5		
四半期純利益	72	(2.7%)	30	(1.1%)	△ 42

第2四半期 連結貸借対照表(要約)

(単位：億円)

	11年度末	12年度2Q	増減		11年度末	12年度2Q	増減
流動資産	(3,347)	(3,176)	(△171)	支払手形・買掛金	1,468	1,329	△139
現預金	635	629	△6	前受金	490	492	2
受取手形・売掛金	1,718	1,526	△192	有利子負債	1,446	1,347	△99
仕掛品	367	433	66	その他	1,059	1,042	△17
その他	627	588	△39	負債合計	(4,463)	(4,210)	(△253)
固定資産	(3,212)	(3,106)	(△106)	資本金・資本剰余金	626	626	—
有形固定資産	2,168	2,131	△37	利益剰余金	1,011	1,009	△1
無形固定資産	125	120	△5	自己株式	△7	△7	△0
その他	919	855	△64	その他包括利益累計額	186	158	△27
				少数株主持分	281	285	4
				純資産合計	(2,096)	(2,072)	(△25)
合計	6,559	6,281	△278	合計	6,559	6,281	△278

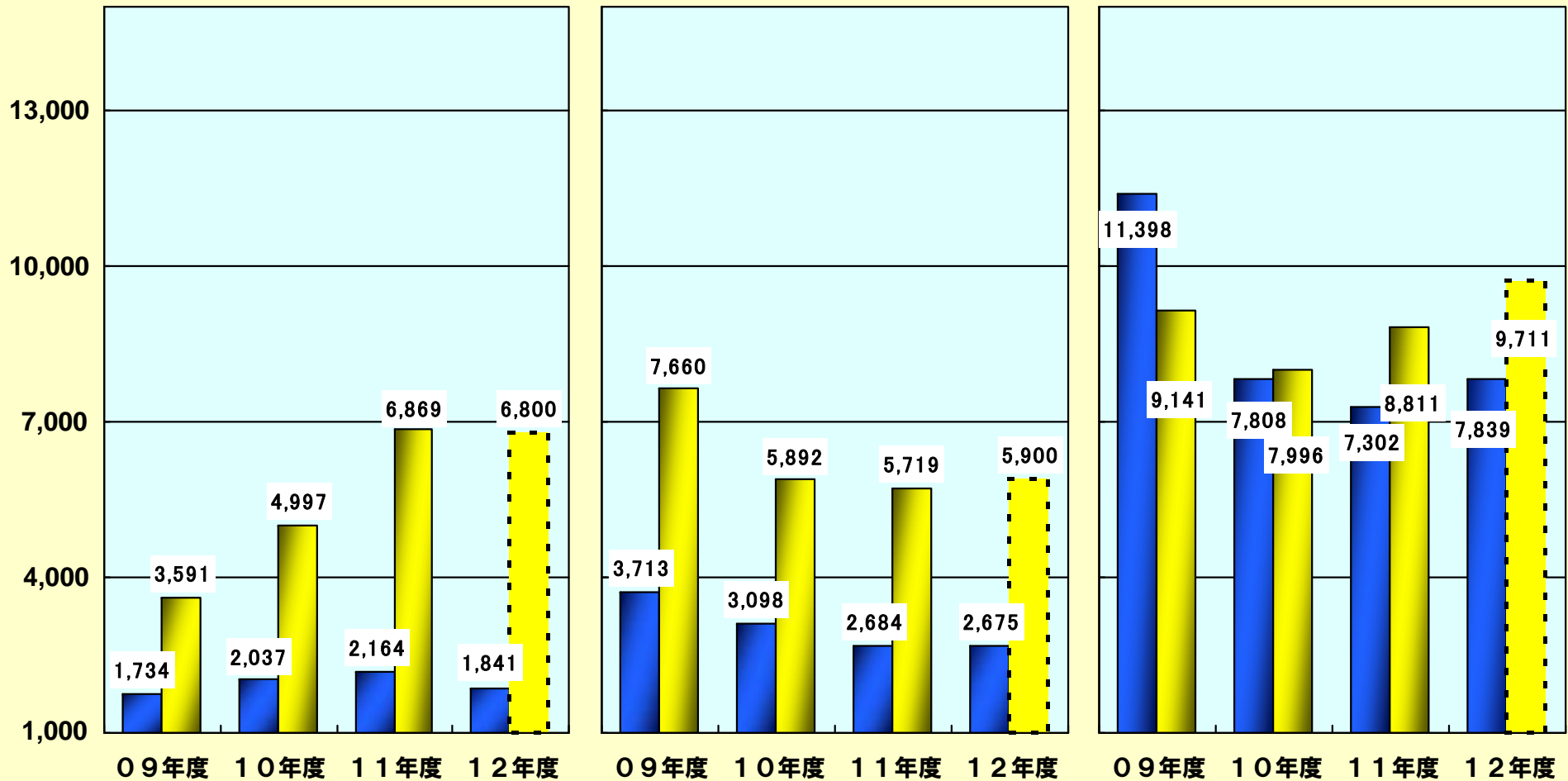
連結 受注高・売上高・受注残高推移

受注高

売上高

受注残高

(億円)



■ 第2Q ■ 通期

連結 受注高・売上高・営業利益の内訳

(単位：億円)

セグメント	11第2Q			12第2Q			12年度予想		
	受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益
船舶海洋	1,147	1,502	49	1,073	1,592	49	3,500	2,900	50
機 械	464	737	76	358	682	51	1,500	1,600	120
エンジニアリング	449	328	2	292	292	△5	1,500	1,100	20
そ の 他	104	117	2	119	108	0	300	300	10
合 計	2,164	2,684	129	1,841	2,675	96	6,800	5,900	200

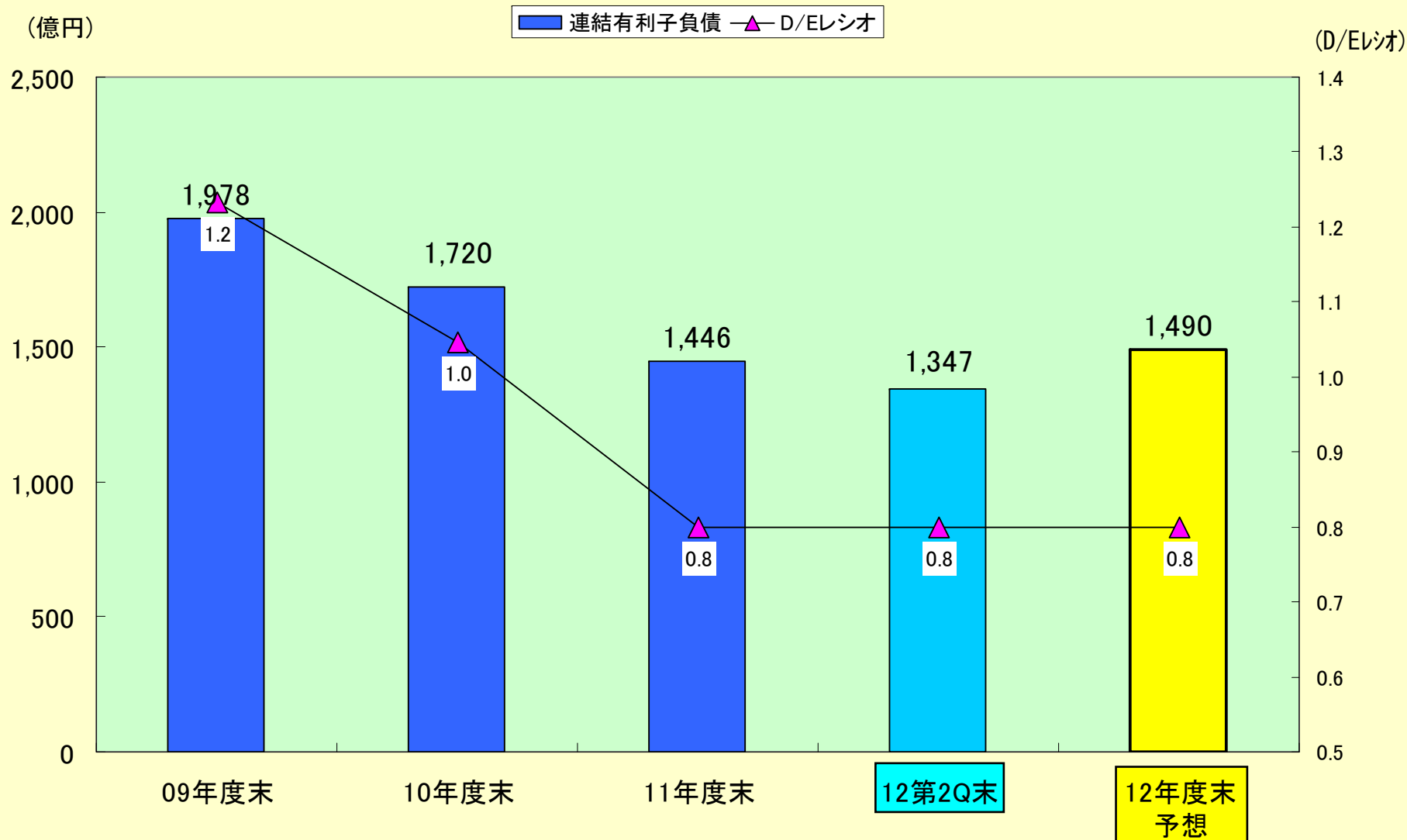
連結キャッシュフローの状況

(単位：億円)

摘要	11第2Q 実績	12第2Q 実績	11年度 実績	12年度 予想
営業活動による キャッシュフロー	5	131	136	110
投資活動による キャッシュフロー	59	△49	115	△60
財務活動による キャッシュフロー	△246	△149	△324	0
有利子負債	1,519	1,347	1,446	1,490

*有利子負債：リース債務を除く

連結有利子負債残高とD/Eレシオの推移



*有利子負債：リース債務を除く